



# 自社工場で赤虫を作ります!!



荒地120,000平方メートルを赤虫養殖田に開墾しました。  
 日本で使われている赤虫は、中国北部の河川で採取されたものと、南部の養殖田で生産されたものです。  
 生産地の現状は、北部の赤虫は河川の水質規制が厳しくなり採取している景観がよろしくないということで、  
 年々行政府の取締りが厳しくなっています。南部の赤虫は稲作水田を転用して養殖しています。こちらも転用禁  
 止の農業規制がかかり年々養殖田が少なくなっています。  
 以上の中国の諸事情から、既に赤虫の生産量は少なくなり、ブローカーの間で赤虫の争奪戦が始まっています。  
 ”さんみ”は自社養殖場ですべて賄えるように養殖田を整えました。

殻の柔らかい5~12mm赤虫、稚魚が喜び  
 そうな赤虫が包装されています。  
 赤虫に触れてみるとぶりぶり弾力張りの  
 ある感触が伝わってきます。  
 らんちゅう愛好家が喉から手が出るほどほ  
 しがる新鮮な生きた赤虫をご覧ください。



## 赤虫の採取

飼料の鶏糞を水田に入れますと、アオモや微  
 生物が繁殖します。そして、アオモや微生物の  
 死骸が沈殿して、赤虫の育つ土壌ができます。



## 洗浄

活きのよい元気な赤虫だけを洗浄します。

## 金魚の糞と浮いた抜け殻

あたかも商品に抜け殻が入っていたかのように思われますが、そうではありません。  
 コップに水を入れ、赤虫を1ブロック入れて観察して下さい。お判りいただけると思います。

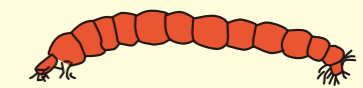
粘膜に包まれている糞の中身は  
 赤虫の皮です。赤虫の皮は、消化  
 されず糞として排出されます。

金魚の糞は、時間が経過するとバ  
 ラバラになり、たたき池の水面に赤  
 虫の抜け殻として浮いてきます。



## 浮き易い赤虫

養殖田で採取した赤虫は、地下水で数回洗浄を繰り返しかれいな  
 状態にします。そして、添加物を一切使いませんので、赤虫は水に  
 馴染まずに浮き易い場合があります。  
 また、赤虫の頭部と尻部には繊毛のような突起があり、これが水の  
 表面張力によって飼育水の新・旧その他の条件によっても浮き易い  
 場合があります。



赤虫(ユスリカの幼虫)